

西峰テクノス株式会社

13

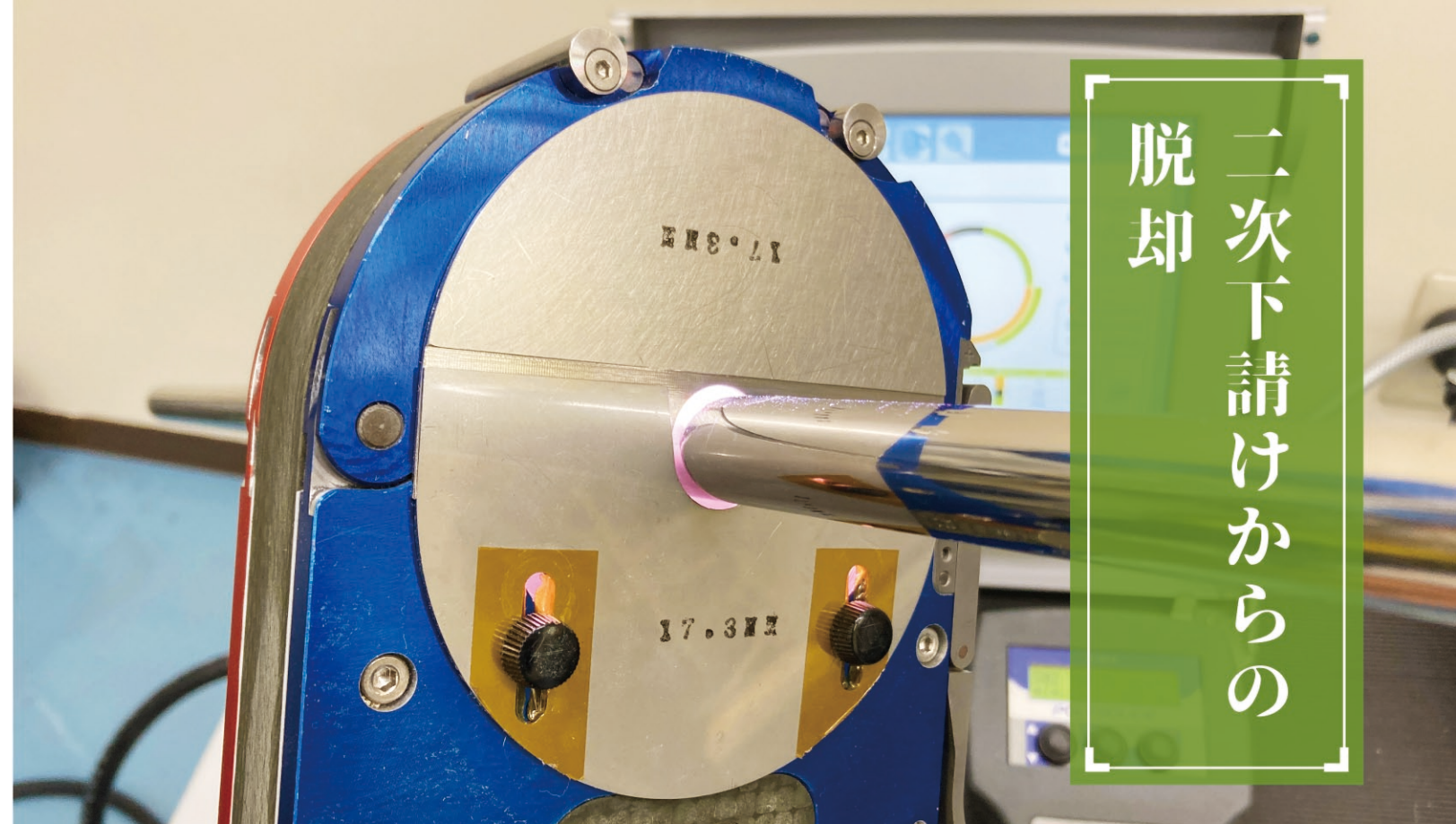
最新自動溶接機導入による 水素ステーション施工案件の受注体制確立

最新の配管用自動溶接機を導入することで、地域内で最高レベルのサニタリー配管工事品質設備を整え、品質と生産性の向上を図る。半導体や水素ステーション建設事業など、成長分野への参入を目指す。

取組の背景 高い溶接技術で新たな市場を開拓

もともと化学・石油プラントの配管工事や大手水処理機器メーカーの2次・3次下請けが多く、収益性の低い事業が多かった。そこで、より高い技術力による高付加価値を提供することを経営課題に掲げ、高度な衛生管理が要求される医薬品、食品、飲料、半導体メーカー向けのサニタリー配管事業に参入。県

内初の溶接クリーンルームの設置、さまざまな配管形状に対応できる自社オリジナルの自動溶接機の開発など、技術力の向上により他社との差別化、メーカーとの直接取引に努めてきた。今回、最新式の配管専用自動溶接機を導入することで、水素燃料関連設備の施工事業への参入などによる事業拡大を目指した。



二次下請けからの
脱却

取組内容 最新式の配管用自動溶接機を導入

サニタリー配管とは、食品や化粧品、医薬品などを製造する工場内で使われる配管の種類。特に、製薬用のサニタリー配管は、一般の配管よりも雑菌の発生や異物の混入に対して非常に厳しく、高度な衛生管理が要求される。また、適正なバリテーション（検証）により、その品質が恒久的に保たれることが必要とされる。厳しい溶接基準に対応するためには、自動溶接機による溶接が必須条件となる。そこで、工場内で行っていた加工工程の機械・ロボット化による全自動化を推進。さらに、より精度の高い最新式の配管用自動溶接機を導入することで、生産性の向上や美観、操作性の向上を図った。



<今回導入したポリスード自動溶接機の特徴>

パイプサイズに合わせて可変のため、セットと締め直しが不要。

溶接後も溶接ヘッドが高温にならないため、溶接直後も手で触れることが可能。

連続稼働が可能。



取組成果 生産性や美観が大幅に向上

溶接時間が従来の30～40%短縮し、生産性がアップした。また、溶接面の変色があまり見られず、見た目の美しさも保たれる。溶接の品質が向上し、接

合部分の強度も増加。配管の寿命も数10%向上するため、交換の手間も省ける。

今後の展望 半導体や水素燃料関連への新規参入

以前は、人員不足から発注を断ったり、延期したりすることが多かったが、新しく導入した自動溶接機による生産性の向上により、これまでの機会損失もカバーできるようになった。現在は、一般配管よりもサニタリー配管の受注が上回っている。また、半導体工場の建設ラッシュに伴い、半導体用のユニット・配管工事、メンテナン

ス対応が増えることが見込まれるため、補助金を活用して新たな機械の導入を検討中。市場の拡大を見込んで、水素燃料関連の新規参入も予定。完全自動化のノウハウを内製化することで、将来的には生産ラインのアフターメンテナンスを自社で行うだけでなく、他社の製造加工工程のIT化をコンサルする事業も想定している。



代表取締役 高橋 誠

ADVICE 会社の方向性を見出すきっかけに

まず、会社の方向性を決めることが大切です。弊社の場合は、工事施工業者から配管などの材料・部品手配も請け負うメーカーへの業態転換という大きな目標がありました。ゆくゆくは自社の名前が入った装置を製造・販売したい。それを実現するためにも補助金の活用は必須だと考えています。ネックとなる申請書の作成は、専門家をお願いするのもひとつの方法だと思います。

西峰テクノス株式会社

〒743-0061 山口県光市小周防1102-4
TEL 0833-48-8868 / FAX 0833-48-8268
<http://seiho-t.jp>
業種 製造業
資本金 800万円
従業員数 40名(令和3年12月)
平成19(2007)年創業
代表取締役 高橋 誠



20～30代の若いスタッフを中心とする製造系ベンチャー企業。主な事業は、食品、飲料、医薬品、半導体メーカー向けの衛生面に特化したサニタリー配管工事、サニタリーユニット製作。サニタリー配管およびユニット架台製作の工場内生産において、ISO9001:2015の認証を取得。光市の本社のほか、千葉県市原市やネパールに支社を置く。